

(お知らせ) 平成23年6月27日に掲出した数値に誤りがありましたので、以下のとおり訂正させていただきます。

22年度の排出量(暫定値)	(誤) 618,284kg-CO <sub>2</sub>	→	(正) 619,049kg-CO <sub>2</sub>	
同基準年比削減率	(誤) 30.9%	→	(正) 30.8%	(平成23年9月21日)

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の温室効果ガス排出量について(平成21年度確定値及び平成22年度暫定値)

平成23年6月27日

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

当機構は、平成19年7月2日、「京都議定書目標達成計画」及び「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置」に基づき、「独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構における温室効果ガス排出抑制等のための実施計画」(以下「実施計画」という。)を策定し、平成18年度比で平成24年度までに概ね6%削減することを目標とし、温室効果ガスの排出削減への一層の取組を図ることと致しております。

今般、平成22年度の温室効果ガス排出量(暫定値)を推計したので、平成21年度の排出量を暫定値から確定値に更新したことを含め、お知らせ致します。

### 1. 平成21年度の排出量の更新

平成22年6月25日の機構HP及び「環境報告書2010」において公表した平成21年度の総排出量 834,892kg-CO<sub>2</sub> について、以下の変更を行うことにより、確定値として 768,626kg-CO<sub>2</sub> に変更しました。

○ 電気の使用に係る温室効果ガス排出係数について、平成20年度の電気事業者別排出係数を、平成21年度の電気事業者別排出係数(平成22年12月27日経済産業省・環境省告示第15号)に更新して推計しました。

### 2. 平成22年度の排出量(暫定値)

平成22年度の当機構の温室効果ガス排出量について、平成22年度の電気事業者別排出係数は公表されていないため、暫定的に平成21年度の電気事業者別排出係数を用いて推計した結果、619,049kg-CO<sub>2</sub> でした。

平成20年度以降取り組んできた照明のLED化の完了、クラウドコンピューティングの導入に伴うサーバ室の削減及びシステム端末等付帯設備の省エネ効果等により、エネルギー使用量では基準年度比36.4%の削減となり、CO<sub>2</sub>換算では基準年度比30.8%の削減を達成しております。

なお、平成22年度の温室効果ガス排出量は、今後公表されることになる平成22年度の電気事業者別排出係数を用いて、平成23年度の温室効果ガス排出量の推計を行う際に確定値を推計し公表する予定です。

### 3. 今後の取組

実施計画に掲げた平成24年度までに平成18年度比6%削減するという目標の達成について、平成22年度の温室効果ガス排出量(暫定値)においては目標を達成していますが、特に今夏においては東日本大震災等の影響を受けた電力需給の状況に鑑み、執務室内の常時間引き消灯及び昼休憩時の全消灯、OA機器及び電気製品の使用抑制、空調温度の適正化、職員の残業抑制等、より一層の取組を進めて参ります。

以上